

償還 運用報告書（全体版）

第5期<償還日 2022年11月25日>

One 日本株ダブル・ブルファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式／特殊型（ブル・ベア型）
信託期間	2017年11月30日から2022年11月25日まで。
運用方針	わが国の株価指数を対象とした先物取引（以下「株価指数先物取引」といいます。）を積極的に活用することで、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きに対して概ね2倍程度となることを目指して運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建の公社債ならびに金融商品を主要投資対象とし、主として株価指数先物取引を行います。
運用方法	本邦通貨建の公社債ならびに金融商品に投資するとともに、株価指数先物取引の買い建てを行います。なお、株式を組み入れる場合があります。株価指数先物取引の買建額と株式の組入額を合計した額が、原則として信託財産の純資産総額の2倍程度となるように調整を行います。利用する株価指数先物取引の種類は、流動性、効率性等を勘案して決定します。設定・解約がある場合、設定金額と解約金額の差額分に対して、原則として当日中に株価指数先物取引により対応します。ただし、資産が純増する場合で、その額が当日の純資産総額を超えている（純資産が倍増以上となる）場合は、原則としてその超過分は翌営業日に対応します。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「One 日本株ダブル・ブルファンド」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込みみ騰落中率			日経平均株価(225) (参考指数)		株式先物率 比	債券組入率 比	純資産額 総
		分	金	率	騰落	騰落			
(設定日) 2017年11月30日	円 10,000	円 -	% -	円 22,597.20	% -	% -	% -	百万円 100	
1期(2018年11月26日)	9,146	0	△8.5	21,812.00	△3.5	200.0	54.7	7,574	
2期(2019年11月25日)	10,526	0	15.1	23,292.81	6.8	199.4	65.6	3,720	
3期(2020年11月25日)	12,910	0	22.6	26,296.86	12.9	194.4	63.3	1,628	
4期(2021年11月25日)	16,090	0	24.6	29,499.28	12.2	200.0	61.4	3,482	
(償還日) 2022年11月25日	(償還価額) 14,270.43	0	△11.3	28,283.03	△4.1	-	-	2,046	

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) 「日経平均株価」は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、「日経平均株価」自体および「日経平均株価」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。当ファンドは、投資信託委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、株式会社日本経済新聞社は、その運用および当ファンドの取引に関して、一切責任を負いません(以下同じ)。

(注4) 株価指数先物取引の買建額と株式の組入額を合計した額が、原則として信託財産の純資産総額の2倍程度となるように調整を行います。追加設定・換金がある場合、設定金額と換金金額の差額分に対して、原則として当月中に株価指数先物取引により対応するため、計算上の資産構成比率が、実際の計理処理上の資産構成比率と一時的に乖離することがあります(以下同じ)。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■当期中の基準価額と市況の推移

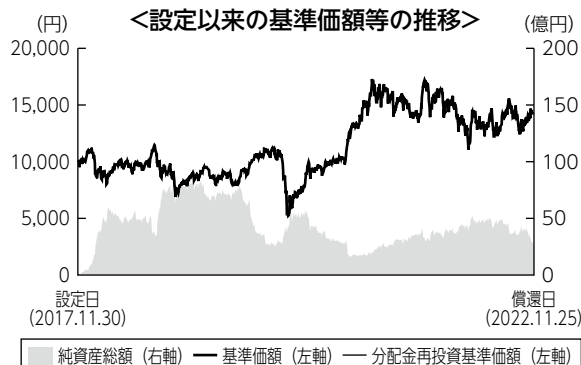
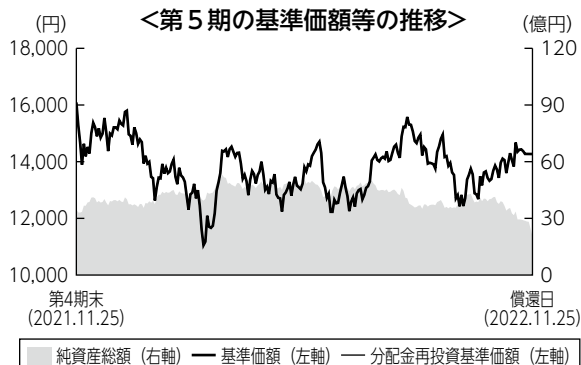
年月日	基準価額		日経平均株価(225) (参考指数)		株式先物率 比	債券組入率 比
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2021年11月25日	円 16,090	% -	円 29,499.28	% -	% 200.0	% 61.4
11月末	13,894	△13.6	27,821.76	△5.7	211.2	63.4
12月末	15,279	△5.0	28,791.71	△2.4	206.3	59.8
2022年1月末	13,434	△16.5	27,001.98	△8.5	199.7	58.6
2月末	12,906	△19.8	26,526.82	△10.1	199.6	57.2
3月末	14,351	△10.8	27,821.43	△5.7	199.9	62.6
4月末	13,327	△17.2	26,847.90	△9.0	200.4	59.1
5月末	13,661	△15.1	27,279.80	△7.5	201.0	60.1
6月末	12,789	△20.5	26,393.04	△10.5	199.7	60.6
7月末	14,109	△12.3	27,801.64	△5.8	199.7	61.4
8月末	14,434	△10.3	28,091.53	△4.8	200.4	59.8
9月末	12,436	△22.7	25,937.21	△12.1	207.4	59.8
10月末	13,966	△13.2	27,587.46	△6.5	195.9	58.8
(償還日) 2022年11月25日	(償還価額) 14,270.43	△11.3	28,283.03	△4.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

■設定以来の運用経過（2017年11月30日から2022年11月25日まで）

基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注2) 「第5期の基準価額等の推移」の分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

(注3) 「設定以来の基準価額等の推移」の基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

(注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

第5期

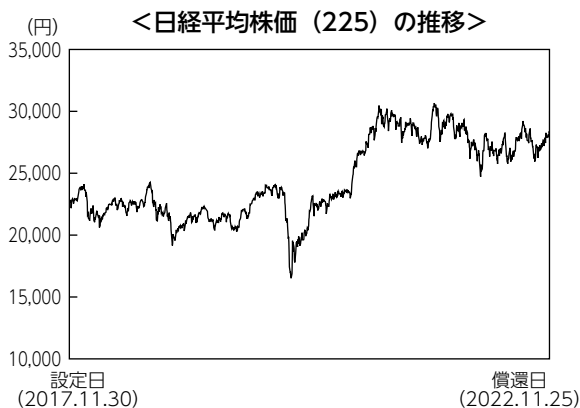
国内株式市場は、期初から2022年3月半ばまでは、新型コロナウイルスの国内新規感染者数の拡大、金融引き締めへの警戒感の高まりやロシアのウクライナ侵攻を要因として下落し、その後も、米国での金融引き締め、円安ドル高の進行、インフレ動向、国内の新型コロナウイルスなど材料が多いなか、一進一退の展開となり、当ファンドの基準価額は前期末比で下落しました。

設定日～第4期

国内株式市場は、米中貿易摩擦や米国の利上げ継続などへの懸念から伸び悩む展開となり、新型コロナウイルスの感染拡大による混乱期には急落に見舞われるも、各国政府・中央銀行の政策対応やワクチンの開発・普及などへの期待から2020年春以降は急速に値を戻したため、当ファンドの基準価額は設定来で上昇しました。

設定来の投資環境

国内株式市場は上昇しました。米中貿易摩擦や米国の利上げ継続などへの懸念から伸び悩む展開となり、新型コロナウイルスの感染拡大による混乱期には急落に見舞われるも、各国政府・中央銀行の政策対応やワクチンの開発・普及などへの期待から2020年春以降は急速に値を戻しました。その後は米国での金融引き締め、円安ドル高の進行、インフレ動向、国内の新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ情勢など材料が多いなか、一進一退の展開となりました。

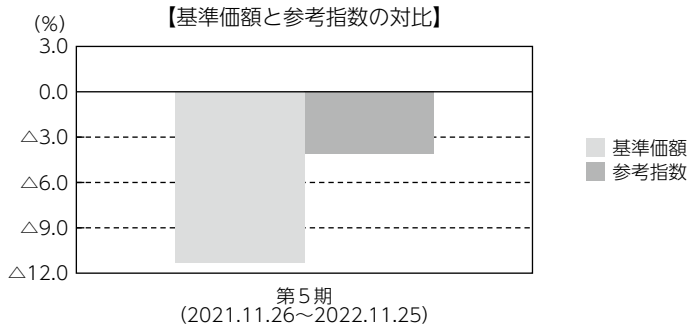


設定来のポートフォリオについて

時価評価額が投資信託財産の純資産総額の2倍程度となるように日経平均株価指数先物を買って建てました。また、主に国庫短期証券を組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。グラフは基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要
	(2021年11月26日 ～2022年11月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	129円	0.935%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,772円です。
(投信会社)	(76)	(0.550)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(45)	(0.330)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(8)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.028	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(先物・オプション)	(4)	(0.028)	
(c) その他費用	0	0.001	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	133	0.963	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

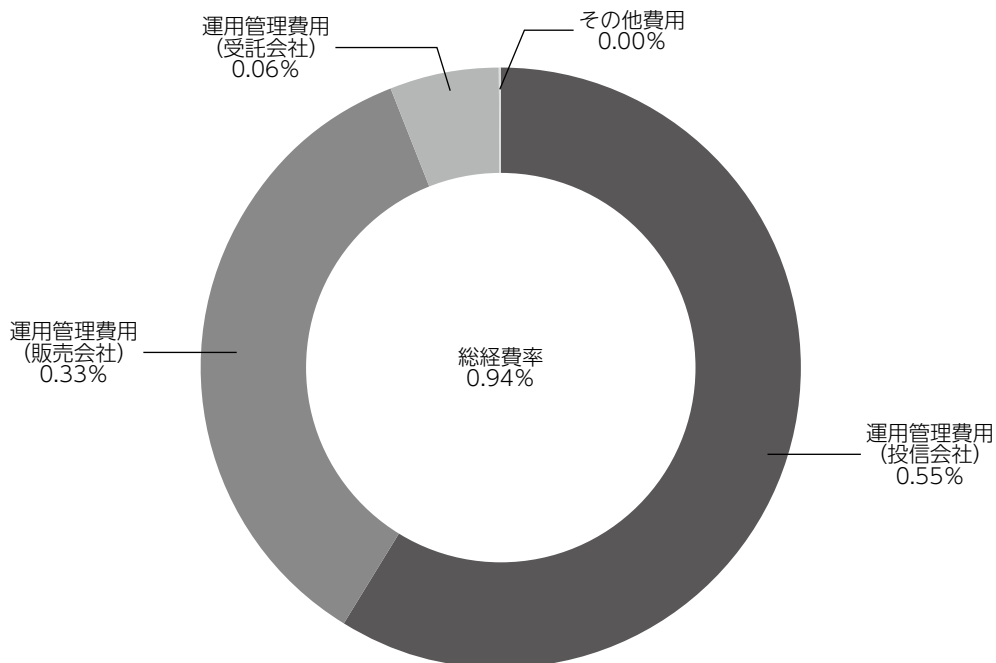
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2021年11月26日から2022年11月25日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内 国債証券	10,103,214	2,480,221 (9,760,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■派生商品取引状況等

先物取引の銘柄別取引・残高状況

銘柄別			買建		売建		当期末評価額		
			新買付額	決済額	新売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
国	株	式	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
内	日	経平均	45,374	52,444	-	-	-	-	-

(注) 金額は受渡代金です。

■利害関係人との取引状況等 (2021年11月26日から2022年11月25日まで)

(1) 期中の利害関係人との取引状況

決算期 区分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	10,103	2,860	28.3	2,480	-	-
株式先物取引	45,374	45,374	100.0	52,444	52,444	100.0

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当	期
売買委託手数料総額(A)	1,188千円	
うち利害関係人への支払額(B)	1,188千円	
(B)/(A)	100.0%	

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年11月25日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	2,838,428	100.0
投資信託財産総額	2,838,428	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年11月25日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	2,838,428,202円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,838,428,202
(B) 負 債	791,583,928
未 払 解 約 金	772,179,709
未 払 信 託 報 酬	19,385,814
未 払 利 息	18,405
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,046,844,274
元 本	1,434,326,067
償 還 差 損 益 金	612,518,207
(D) 受 益 権 総 口 数	1,434,326,067口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額(C/D)	14,270円43銭

(注) 期首における元本額は2,164,610,008円、当中における追加設定元本額は5,755,483,656円、同解約元本額は6,485,767,597円です。

■損益の状況

当期 自2021年11月26日 至2022年11月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△866,287円
受 取 利 息	△505,529
支 払 利 息	△360,758
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△223,599
売 買 益 損	△310
売 買 損 益	△223,289
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	111,623,456
取 引 益 損	1,518,660,765
取 引 損 益	△1,407,037,309
(D) 信 託 報 酬 等	△39,404,063
(E) 当 期 損 益 金(A+B+C+D)	71,129,507
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	22,328,732
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	519,059,968
(配 当 等 相 当 額)	(858,775,251)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△339,715,283)
(H) 合 計(E+F+G)	612,518,207
償 還 差 損 益 金(H)	612,518,207

(注1) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2017年11月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年11月25日		資産総額	2,838,428,202円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	791,583,928円
				純資産総額	2,046,844,274円
受益権口数	100,000,000口	1,434,326,067口	1,334,326,067口	受益権口数	1,434,326,067口
元本額	100,000,000円	1,434,326,067円	1,334,326,067円	1万口当たり償還金	14,270円43銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	8,281,308,069円	7,574,262,863円	9,146円	0円	0.00%
第2期	3,534,719,213	3,720,619,040	10,526	0	0.00
第3期	1,261,386,132	1,628,505,731	12,910	0	0.00
第4期	2,164,610,008	3,482,887,773	16,090	0	0.00

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税引前）	14,270円43銭
----------------	------------

償還乗換えの優遇措置の適用について

当ファンドの償還金をもって他の証券投資信託をお求めになる場合には、購入時手数料のうち所定の額を返戻または割引く措置の適用を受けられる場合があります。優遇措置の適用は販売会社によって異なりますので、詳しくは販売会社までお問い合わせ下さい。